

錦丘中学校 確かな学び

特色ある教育課程を編成するとともに、アクティブラーニングを通して、①基礎的・基本的な知識及び技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう以下の取り組みを行っています。

充実した学習時間の確保

週に3日、7時間の授業を行うことで、国語、数学、英語を中心に通常の中学校課程より学習時間を多く確保しています。2・3年生の理科では、2時間続きのコマを設定することで、観察・実験を計画し結果を分析・解釈する活動を充実させています。

週あたり33時間の授業時数を確保 ～2年生の例～

	月	火	水	木	金
1	社会	国語	保体	国語	理科
2	保体	社会	英語	保体	数学
3	技家	数学	理科	アドバンス数学★	英語
4	技家	コミュニケーション英語★	5必修	英語	コミュニケーション国語★
5	英語	理科	総合	社会	国語
6	国語	理科	総合	美術	音楽
7		道徳	学活	数学	

5必修…技家・音・美・社・理 ★…学校独自教科



中高一貫教育を生かした 発展的学習

数学、理科、国語、英語を中心に、中学校での学びをさらに深める発展的な内容や、一部高校で学ぶ内容を学習しています。

学校独自科目の設定

中高一貫教育校の特例を生かして本校独自の科目を設定し、「読解力」や「説明・論述する力」、「コミュニケーション能力」、「論理的思考力」を育成しています。

●コミュニケーション国語

さまざまな言語活動を通して、自らの考えを論理的に表現し、主体的に話し合う力を身につけます。

●コミュニケーション英語

場面や状況に応じて心情豊かにコミュニケーションを図る力をつけます。

●アドヴァンス数学

発展的な課題に取り組み、思考力を高めるとともに、復習問題の繰り返し学習を行い理解度を深めます。

個に応じた指導の充実

数学及び英語では、全学年の授業を習熟度別の2つのコースに分け、生徒の学習状況に合わせてきめ細かな指導を行っています。

主体的な学びの推進

資格取得や研修、各種大会に積極的に挑戦させ、一歩進んだ使える英語の力や、自ら考え発信する力を伸ばしています。

●British Hills 英語研修

英語のみを使って生活する環境に身を置いて自分の英語力を試し、もっと英語を学びたいという気持ちを高めます。

●実用英語技能検定 全員受験

生徒全員が実用英語技能検定を年1回受験し、英語力の向上を目指します。

〔平成27年度の記録〕

●実用英語技能検定3年生の結果

2級…7人 準2級…40人 3級…56人(119名中)

●金沢市高峰賞(理数分野) 1名受賞

●金沢市宮村英語奨励賞 3名受賞

●少年の主張石川県大会 優秀賞

●石川県中学校サイエンスチャレンジ金沢地区 金賞

錦丘中学校 充実した学校生活

道徳の時間

一部改正学習指導要領の趣旨を踏まえ、「考える道徳・議論する道徳」の授業実践に取り組んでいます。

学校行事

よりよい人間関係を築くことをねらいとした宿泊体験や、視野を広げ、将来に対する目的意識を育む講演会、学習の成果を交流し学びを広げたり深めたりする学習成果発表会などの充実した学校行事が組まれています。

【主な行事】

4月	オリエンテーション合宿	全学年
5月	中高合同校内陸上競技大会	全学年
6月	大学訪問	三年
7月	合唱コンクール	全学年
8月	中高合同文化祭	全学年
9月	大学生との交流会 球技大会	三年 全学年
	ふるさとフィールドワーク	一年
10月	わく・ワーク体験 修学旅行	二年 三年
11月	中高合同教育講演会	全学年
12月	人権集会	全学年
1月	書き初め競書会 百人一首大会 球技大会	全学年 全学年 全学年
2月	キャリア講演会	全学年
3月	学習成果発表会	全学年



▲学習成果発表会



▲陸上部

部活動

部活動を3年間続けることで、身体が強くなるだけではなく、仲間と協力する力や困難なことにも立ち向かい粘り強く努力する力も身に付けることができるように指導しています。

運動部…陸上競技・卓球・弓道・サッカー・野球
バスケットボール(男子)
バレーボール(女子)・ハンドボール(女子)
バドミントン(女子)

文化部…吹奏楽・英語・科学・美術

【部活動 栄光の記録 過去5年分】

●陸上競技部	女子200m、男子2年100m	北信越大会出場 (H27)
	女子1年走幅跳	ジュニアオリンピック出場 (H27)
	男子1500m、女子1500m	北信越大会出場 (H26)
	女子1500m、3000m	ジュニアオリンピック出場 (H25,H26)
●ハンドボール部		北信越大会出場 (H23)
●弓道部	男子個人	全国大会出場 (H23,H26,H27)
	女子個人	全国大会出場 (H24)
	男子団体	全国大会出場 (H23,H26)
	女子団体	全国大会出場 (H24,H25)
●英語部	高円宮杯英語弁論大会全国大会出場 (H23,H24,H26)	
●吹奏楽部	北陸吹奏楽コンクール出場	(H24,H25)

錦丘中学校 錦中に関するQ&A

Q1 併設型中高一貫教育校とはどのような学校ですか。

中高一貫教育校とは、従来からある中学校・高等学校の制度に加えて、生徒や保護者が、6年間を見通した教育課程や学習環境の下で学ぶ機会を選択できるよう設置された学校のことです。本校は併設型なので、入学試験を受けずに全員が錦丘高等学校に進学することとなります。

Q3 部活動はどのように行われていますか。

部活動は大切な教育活動の一環なので、本校では全員が部に参加することを原則としています。また、勉強との両立が可能となるよう、夏期は18:10、冬期は17:40(延長のときは18:10)終了、さらにテスト前に1週間の休みを確保するなど、計画的に行っています。

小学校で継続して取り組んできた活動を、中学校入学後3年間継続して取り組む意志があり、活動日誌を提出する等の条件が満たせば、部活動代替と認める場合もあります。

Q2 中高一貫校の利点は何ですか。

高校入試の影響を受けずに、6年間の計画的・継続的な教育活動が展開でき、生徒の個性や創造性を伸ばすことができます。また、高校生の姿を身近に見たり、合同で活動することで、自分の将来への見通しを持ったり、社会性を身に付けたりすることができます。

Q4 家庭学習を重視していると聞いていますが、学校としてどのように取り組んでいますか。

金沢錦丘高等学校は進学校であり、高等学校では授業はもちろん予習・復習も含めた学習全体の質と量の確保が求められます。そのため中学校では、家庭学習を計画的に進めるとともに主体的に学習に取り組む姿勢を身に付ける必要があると考えています。そこで、本校では全員が共通に取り組む必須課題に加え、各自の得意分野を伸ばしたり不得意分野を克服したりするための自主課題に取り組ませています。自主課題の内容を決める際には、教科ごとに教師がアドバイスをしています。



東京大学
理科二類

石野 可南子
(平成24年3月卒業)

私が金沢錦丘中学校を受験した理由は、やはり高校受験がないからです。高校にそのまま進学できるので、3年生になっても部活動や習い事をやめずに6年間続けることができます。そのうえ高校生と一緒に部活動をする機会もあり、いい刺激になりました。私は中学校で吹奏楽部に入り3年生の時に部長をさせていただいたのですが、毎年の定期演奏会に向けて高校生に助けてもらいながら準備をしたことや文化祭のステージで一緒に演奏したことはいい思い出となりました。部活動以外でも文化祭や陸上競技大会などの学校行事は高校生と合同で行われるのでとてもにぎやかで楽しいです。これらは中高一貫の錦丘ならではのことなので他の中学校では体験できません。

学習面については、自分の将来について考える授業があり、そこで学んだことが大学受験において役に立ったと思います。これからは錦丘での6年間の経験を生かして頑張りたいです。

卒業生の言葉

名古屋大学
情報文化学部
社会システム情報学科

渡部 介希
(平成25年3月卒業)



金沢錦丘中学校は県内唯一の併設型中高一貫校です。これは、生徒にとっても大きなメリットであると思います。中でも僕が一番いいと思ったのは高校受験がないことです。錦丘の生徒はほかの中学生が受験勉強をしている間に高校生へと変わっていくことができるのです。たとえば部活動、僕はバスケットボール部に所属していたのですが中三の秋から高校の部活動に混ざって練習をさせてもらいました。これはほかの中学生には絶対できません。

また、勉強面では高校の授業見学や高校の先生に模擬授業をおこなっていただくことで高校の雰囲気慣れることができました。

地元の中学校に行かず錦丘に行くことは僕自身少なからず不安がありました。ですが、錦丘ではそんな不安を一掃してくれる友人や先生方と出会えました。こんな経験ができるのも錦丘だけです。錦丘での経験が今の僕をかたち作ってくれました。